

オオシラヒゲソウ (学名: *Parnassia foliosa* var. *japonica*)

[ニシキギ科 ウメバチソウ属]



▲茎のつけ根にはハート形の葉が付く(根出葉)



▲花を上から見ると花弁が細かく裂けている様子が観察できる

オオシラヒゲソウは、秋田県から兵庫県の日本海側に分布し、山地の沢などの湿った岩の上に生育する多年性草本です。「シラヒゲソウ(白髭草)」という名は花弁が細かく裂けた様子がひげに似ていることが由来となっています。オオシラヒゲソウは、日本に広く分布するシラヒゲソウ(*P. foliosa* var. *foliosa*)よりも全体に大型であることから、この名前がつけられました。花期は8月~9月です。草丈は15~30cmと人のくるぶしほどの高さで、葉は心円形で茎を巻き込むように2~4枚付きます。また、茎の根本からでる葉(根出葉)はハート形をしています。福島県では会津地方西南部にのみ見ることができ、福島県のレッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)では将来の絶滅の危険性が極めて高い「絶滅危惧Ⅰ類」に分類されています。さらに、「福島県野生動植物の保護に関する条例」において“特定希少野生動植物”に指定され、原則として採取や損傷、譲受けが禁止されています。只見町では、オオシラヒゲソウのみが生育し、県内でも貴重な生育環境を提供しており、その個体群や生育地の保護・保全に努める必要があります。

企画展示

只見ユネスコエコパーク関連事業・只見自然環境基礎調査報告
「只見の湿原—その生態と歴史」

期間:11月20日(月)まで開催中

場所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

プラセンター講座

「只見町の湿原—植生からみた多様性」

講師:菊地賢氏(森林総合研究所・主任研究員)

日時:9月23日(土・祝)13:30~15:30

場所:ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください

自然観察会

「八十里越の化ケ物谷地に行こう！」(定員27名・事前予約制)

日時:9月24日(日)9:00~13:00

観察地:入叶津 化ケ物谷地(八十里越)

集合:ただみ・ブナと川のミュージアム(8:45集合)

参加費:1,000円(入館料、保険料、バス代を含む)